

警城日報

平市白鷺町十一番地
電話(市)二二二二
編集人 後藤 幸夫
印刷人 丸山 徳平
毎週水曜日休刊 一冊一円
一ヶ月三十日 一冊一円

少年の變造紙違反

犯罪はますます悪化する

先月より十件の増加

平家裁八月の統計による他となつて、このうち少年犯罪受理件数は五十九四才の少年が千切れた百件に達し六月(四十八件)、圓札の半分を二枚拾得、(七月五十一件)に比し月十れをつぎ合わせ使用、變造件宛増加しているが、これ紙幣行使違反で檢査されたは犯罪の温床と云われる夏ものなどありこれらは親が季休暇七夕祭や盆盆など、相談を受けた際適切な指導のお祭り行事が續き、各家を誤まつた結果と見られる庭の少年指導を怠つたものいづれの犯罪にせよ少年と見られ、例年夏季間は犯は思えない程の悪質傾向を罪増加の傾向が多分にある帯びて来たことは大いに注が、特に今夏は窃盗が断然目され、また九月中も祭禮多く八月には三十五件、次等が多いので更に激増するいで傷害三件、道路交通違反のものと豫想され各家庭及び反三件、強姦致傷一けん、び關係當局の善導が要望さ鐵道營業法違反一けんそのれてゐる

物價漸く安定に近づく

織維製品は下りか

朝鮮動亂以來特需物價の買入絹布二割一分及びゴム類進みその他業者の思惑買のタイヤ、チープ、ゴム履物などにより物價は全般的に上類で七割程度の値上りとな昇、平市では動亂前に比し、このけい向は八月十五主食が三割内外の騰貴をみ六日ごろ最高度でその後除せ、食料品以外の主要生産に下降を見せたり現在資材は平均十五パーセント 尚上昇のけい向にあるののネ上りを示している、特は非鉄金属、鉄鋼などで主に價格騰貴の甚だしいもの食では精米以外の精麥、メは織維品で綿布三割一分、リケン粉、食用油などは動

夏井で石器骨角品發掘さる

珍らしき古代研究資料

内郷町郷土研究同志會ではをしばらくのために使用したユ過日同町二中竹島教師の指導のもと夏井村下大越地内農業鈴木善太郎さん所有の梅林内第一、二号貝塚の發掘を行つたところ珍奇無類なユ、鯨の背骨を發見三十一日午後四時ごろ市署した見したほか骨角製品、モリ員が公園を徘徊中の舉動不土おもり、ツリ針(鹿の角審の男を職務尋問したとこ製分銅型石オノ、狸の骨等る逃亡せんとするので逮捕發掘された、慶大教授江坂し取調べたけつ果、住所不職新田ヨシ子さん(18)が平

窃盜常習犯

公園で逮捕さる

店先でスラる
三十日正午ごろ湯本町大字湯本字八仙三四号ノ一無職新田ヨシ子さん(18)が平市二丁目伊關吳服店台所で食事中、台所アガリ口に置いた現金四百二十圓入の財布風呂敷一枚及び移動證明書などを盗まれ三十一日市署に届出た

珠算能力檢定試験

平市商工會議所の珠算能力檢定試験は十月八日平商校で行う、試験科目は一、二級見取算、乗除算其の他など申込締切りは九月十六日まで

市署で配置異動

平市署では九月一日付で署内の配置異動を次の通り

經濟部係、元警務係巡查部長 宮本 豊
警務部係、元警務係副隊長 巡查部長 瓜生 新六
警邏部係、元警邏部副隊長、元警邏部係巡查部長 桑名 四郎三氏

火災防犯懇談會

石城地方事務所では六日午後一時から湯本自治會館で七日午前九時から地方事務所會議室で火災防犯懇談會を開き最近續發する火災類の盜難事故防止について協議する

内郷一中校舎

明年三月に完工
内郷町では近く第一中學校舎を同町高坂地内に工費千六百万圓建築六百三十坪建築費千六百万圓三月完成

呼吸器科

小兒科
平市古カヂ町(縣社下)藤 醫 院
電話 1036

株式買の御用は
平和證券 K K
白銀町二
電話 1190 884

(株式速報)

概況材料持ちこた人氣が落ち五圓内外少動の商狀であつた一日午前十一時半げん在平和證券調べ (單位圓)

| | |
|---------|---------|
| 日 石 三 | 日 鑽 丸 |
| 昭 和 油 毛 | 帝 石 六 |
| 日 化 業 六 | 三 井 造 五 |
| 日 立 造 毛 | 日 平 産 三 |
| 精 工 二 | 洋 洋 一 |
| 織 工 一 | 東 洋 紡 三 |
| 富 士 紡 一 | 東 洋 紡 三 |
| 片 倉 三 | 大 日 紡 五 |
| 商 船 三 | 郵 船 七 |
| 東 海 上 五 | 三 井 船 三 |
| 東 邦 船 六 | 日 麥 酒 三 |
| 日 本 セ 八 | 警 城 七 七 |
| 帝 人 二 | 東 洋 一 一 |
| 旭 化 成 二 | 日 立 三 |
| キ リ ン 三 | 日 東 紡 二 |

9月2日 大會 花火 燈流

(於鎌田橋)

お氣輕に御休み下さい
橋本屋食堂
平神橋タモト

青果品 菊屋酒店
平市月正町

品質精撰
渡邊鶏肉店
平市七町目

皆様の食膳に新鮮な
お魚を御すすめします
平田魚店
平市六町目

食文化の向上にパン食
製パン所
平市ねぎ町 電話一〇三七

何んでも揃う百貨問屋
さかいや
平市六町目 電話四八五

委託加工
旭製パン所
舊カマメ橋角

岡田牛乳 株式會社
平市鎌田町十一番地
電話五一五

勿來町にセキリ續發 役場當局の防疫怠慢か

勿來町九面七九渡邊秀春と相當數ありそのうち畑山イ(二)は去る二十日發病しツ子(二)渡邊啓子(五)鈴木二十六日疑似赤痢と決定さヒロ子(六)の三名が臨床診業高等學校で開く、尙同校の授業參觀をかねるのため三十日に至り平保健似赤痢と決定、直ちに隔離所に報告され、三十一日保した、結局、役場係員の職健所草野技師一行及び關本務怠慢で最初の患者發生と村平瀧地内諸橋醫師が同地同時に適切な防疫措置を内隣家を二巡、傳染経路調早期に講じなかつたため、査を行つたところ近邊に下他に三名の犠牲者を出すに痢症状を呈しておるものが至つたものと見られる

仕掛花火など百八十發 夜空を彩る錦繪

明日平神橋で

平市夏祭り行事の最後を飾る賞金が贈られる、打ん方から盗んだ時計五ヶ、電蓄一台など七方圓相當を保管していたことが二十二日發覺、昨三十一日勿來署へ

大浦でドブ押 トラツクに四石を隠匿

三十一日午前十一時三十分時押収、なほ李を地區署にござる常警地區警備隊が草野 連行し取調への結果、酒造村駐在所前で交通整理中、法違反容疑で目下捜査中の大浦村大字長友古屋敷六 同地内金鐘烈(33)から購入四李鐘烈(27)が乗車せるト ラツクを隠匿したところ、通信教育懇談會 ドブ押四石一斗二升がコ モで被せてあり、署員は即平、石城地區新制中卒者を

古河炭礦電話線 百米盗まる

昨三十一日午後三時ごろ内郷町高定地内の古河炭礦專用電話線(古河...綴約百米が切斷、盗まれた

甥の盗品を保管

小名浜町下明神町四八松本シマ子(30)は二十四年一月四日正午ごろ甥の平子久雄が勿來町時計店保次郎が保管していたことが二十二日發覺、昨三十一日勿來署へ

竹細工講習會

十一日から廣野で浜三郡竹工藝品製作講習會は十一日から一週間双葉郡廣野町で開かれるが希望者は早急に町役場、及び石城地方事務所へ届け出でら

疫痢二名

夏井村大字菅波字禮堂八箱崎幸雄ちやん(一)は三十一日、湯本町大字關船字向田一四鈴木利雄さん(三)は二十七日發病、三十一日それぞれ疫痢と決定、隔離された

ニユース

宮城縣栗原郡岩崎町にこのほど天保大飢饉の餓死者を葬つた塚が發見された、同町茂庭町曹洞宗洞松院の山門前にある三段に積んだ高さ二尺八寸の台石の上に「三界万靈塔」と刻まれた高さ三尺六寸の尖頭方柱の碑で天保七年から同八年(約百五十年前)にかけた餓死者の白骨を拾集埋葬し一周忌に當る同九年に建てられた骨塚である、これが舊盆中に發見されたワケで當時の餓死者も昭和の今日になり漸く浮げられるだろうと近く施餓鬼會を催すことになった

茨城縣多賀郡高岡村大野立野支徳さん、長男某(14)はまた汽車を見たことのないので好奇心にかられ二十九日朝汽車に乗るため家出、常磐線高萩驛より原町まで無賃乗車を行い同町で一泊し三十日上り二二二列車で歸宅しようとするが無賃乗車しよと再び無賃乗車したが車掌さんに見つかり同日午後六時三十分平公安室に保護されたが同村地内は高萩驛より三里も離れた山奥でキ車を見たことのないものが相當いるとのこと



化学的 防水加工 開店

「サク酸」アルミナ法
ドライクリーニンゲ
平市大町 六〇六 ナカヤマ
洗濯：染色

外科 胃腸科

外科一般 整形外科 性病科 皮膚科 肛門科 内科 胃腸科 呼吸器科
松村 鐵郎

呼吸器科

牛豚肉 323
先づ委わしく 御容態を 御話し下 さい 良く効く薬を 差上げます
御相談は 小野屋薬局 平四 電144

呼吸器科 小児科

平市搔樋小路 和田医院 電一八七番

皮膚科 性病科 泌尿器科

診察時間 自午前八時 至午後八時
平市材木町 (文化劇場ウラ) 江尻醫院 江尻伊三郎 電話248番

今日の生ビール

平華 (特別) 大サービス (割引)
大 三〇円 中 一〇円 小 七円
中華料理 平驛前 電三五八

食パン 毎日健康

平製パン 平市カシ町三三 電話21
騰寫印刷 名刺専門の 古市へ

皮膚病科 性皮膚病科

矢吹大一郎 古川三雄
矢吹醫院 平市古鍛冶町縣社下 電二九・二九五